

# 平成30年度 鳥取県西部沿岸土砂管理連絡調整会議 次第

日 時 平成30年11月22日（木） 午後2時30分～4時00分

場 所 鳥取県立武道館 2階会議室

## 次 第

### 1 あいさつ

### 2 議 事

#### (1) サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出

#### (2) 各管理者の土砂管理への取組

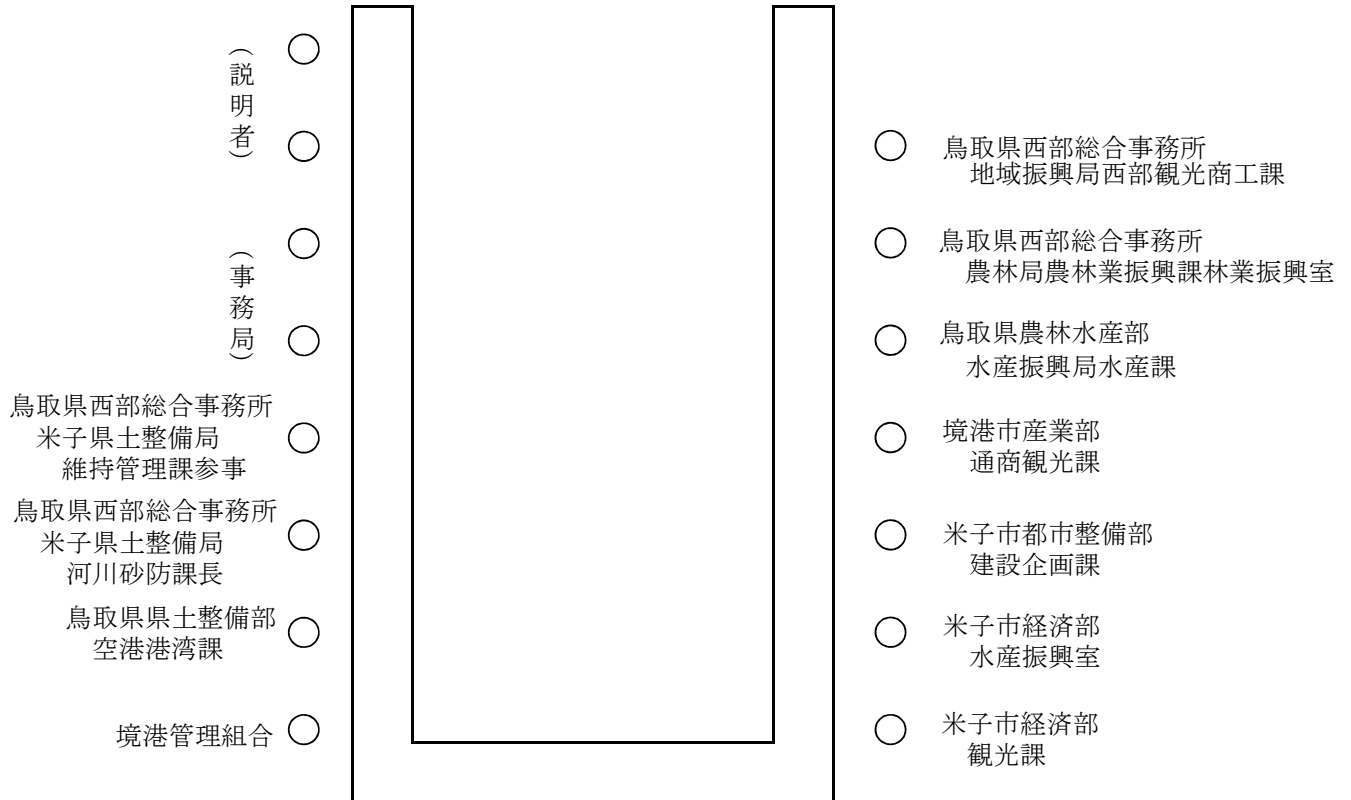
- ・ 海岸保全事業の進捗状況について (日野川河川事務所)
- ・ 土砂管理計画の取り組み状況について (日野川河川事務所)
- ・ 境港公共マリーナの土砂堆積対策について (境港管理組合)

### 3 その他

# 平成30年度 鳥取県西部沿岸土砂管理連絡調整会議 配席図

(入口)

スクリーン



○ ○ ○ ○

境海上保安部  
警備救難課

鳥取大学  
工学研究大学院  
黒岩教授

国土交通省  
日野川河川事務所

国土交通省  
境港湾・空港整備事務所

随席

報道関係者席

平成30年度 鳥取県西部沿岸土砂管理連絡調整会議 出席者名簿

H30年度		役 職	氏 名	随 行 者
構 成 員	鳥取大学大学院工学研究科	教 授	黒岩 正光	
	鳥取大学	特任教授	松原 雄平	欠 席
	国土交通省日野川河川事務所	工務課長	神庭 治司	係長 山本 智一
	国土交通省境港湾・空港整備事務所	保全課長	小室 祥次	
	境海上保安部警備救難課	鑑識官	永田 真也	係員 西 雅弘
	米子市経済部観光課	課 長 (代理 主幹)	中久喜 知也 (保木本 賢一)	
	米子市経済部水産振興室	室 長	清水 寛明	
	米子市都市整備部建設企画課	課長補佐	佐藤 茂浩	主事 宮前 秀悟
	境港市産業部通商観光課	係 長	立花 順平	
	境港市建設部管理課		欠 席	
	日吉津村建設産業課		欠 席	
	境港管理組合	係 長	岡田 順三	土木技師 露木 裕文
	鳥取県農林水産部水産振興局水産課	課長補佐	石原 幸雄	
	鳥取県県土整備部空港港湾課	課長補佐	小屋 隆志	
	鳥取県西部総合事務所地域振興局西部観光商工課	課 長	八幡 徳弘	
	鳥取県西部総合事務所農林局農林業振興課林業振興室	室 長	須崎 雅之	
	鳥取県西部総合事務所米子県土整備局	河川砂防課長	新宮 宏治	
		維持管理課参事	谷野 俊爾	土木技師 山下 徹

事務局

鳥取県県土整備部河川課

## 平成29年度 鳥取県西部沿岸土砂管理連絡調整会議 議事概要

日 時：平成29年11月 1日（水）午後3時00から4時30分

場 所：鳥取県西部総合事務所 新館2階第15会議室

### 1 議事

#### (1) サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出

サンドリサイクル実施状況、評価分析、今後の方針を海岸毎に説明。

[検討対象海岸：境港工区、富益工区、夜見工区、両三柳工区、皆生工区]

#### (2) 各管理者の土砂管理への取組

##### ■ 海岸保全事業の進捗状況について（日野川河川事務所）

- ・沖合の施設整備はH28年度にて完了。今後は、富益工区5基及び皆生工区3基の施設改良を実施していく予定。H29年度は富益工区の1基について施設改良の実施を予定している。
- ・先の台風21号では、既往第4位となる有義波5.74m、周期も長かった影響もあり、皆生工区、富益工区については特に砂が持っていかれ、浜崖となっているため、緊急養浜を実施予定している。

##### ■ 土砂管理の取り組み状況について（日野川河川事務所）

- ・「日野川流砂系の総合土砂管理計画」を平成26年度に策定。
- ・総合土砂管理取組として実施している砂州の掘削と置土について、台風18号の出水効果により、置土の3,500m<sup>3</sup>の流出を確認(5.8k付近)。トレーサ調査の結果、最大で下流4.8k付近(1.0k移動)まで流出を確認している。
- ・今後、河床変動モデルとの比較を行い、効果を検証し、海岸域に良好な土砂が供給できるようにしていきたい。

##### ■ 境港公共マリーナの土砂堆積対策について（境港管理組合）

- ・平成26年に日本オリンピック連盟のセーリング強化センターに認定され、さらに「2019レーザ一級世界選手権」の開催地に内定を受けたことから、当マリーナは盛り上がりを見せているところ。
- ・しかし日野川流砂系の末端部に位置することから、毎年維持浚渫をして、航路埋没対応している状況。
- ・航路埋没対策については、鳥取大学と現在、共同研究を進めており、具体的な方策について現在検討中である。今後の予定は、H29年度設計、H30～H31年度に施工といったスケジュールを予定している。

### 2 その他

#### ■ 浜崖後退抑止工(サンドバック)の取組状況について

- ・岩美海岸においては、海水浴シーズンに間に合うよう養浜を行うが、数日で侵食が発生し、追加で養浜を行うなど、維持管理の面で多くの問題が発生している。
- ・そのため、8月にその対策を検討する委員会を開催し、景観面、防護性、経済性を検討した結果、浜崖後退抑止を目的としたサンドバックにより対策を行うことが決定し、11月に試験施工を行うこととしている。
- ・試験施工後は定期的にモニタリングを実施し、その結果を基に、検討委員会にて、本施工の対策を決定していく。